

英語専攻科 担任コメント

I 英語専科の学生という立場活かして欲しい

「英語を使って仕事をしたい!」

「いろんな人との関わりを持つために英語力を向上させたい!」

そんな志をもって入学してきた英語専攻科のメンバーの皆さん。

英語専攻科での2年間は、恐らく皆さんの想像以上に

【敢えて英語で物事に挑戦しなければならない】ことが多いです。

その為に、ときには負担に感じるが出てくるかもしれません。

そんな時には、「そのような環境下にあえて身を置くことで自分たちと異なる考えや生活様式といった多くの差異に出会うことが期待できるのだ」「英語専攻科を選んだ方こそ、沢山のチャレンジが待っているのだ」と、ポジティブに考えてみましょう。

気づかない、避けて通るのはもったいない。

関わる世界を大きくするのは自身の考え、それに基づく行動です。

そして、皆の勇気が行動の幅を広くするのだと信じています。

何より英語専攻科で2倍、3倍の経験を仲間とできるのだと考えてみてください。

そんな気持ちでホテスク英専2年間で過ごしてもらえたら嬉しいです。

2 総支配人からのアドバイス、進路についての機会を活かす

「総支配人に聞いてみよう! シャングリ・ラ ホテル東京の総支配人へ、どんなことを質問したいですか?」と、学生たちへ投げかけた時、学生の皆さんからは、

「総支配人なんて立場の方に質問なんてできるの?」

「こんなことを聞いて、失礼にあたらなかなあ」

「どんな事を聞いたら自分にとってプラスになるのだろうか?」

など、驚きとともに戸惑いの反応が返ってきました。

入学してまだ数ヶ月の学生たちにとって、自身の進路を具体的に考える機会はまだまだ多くない状況です。ホテル業界でのキャリアを豊富に積んできた外国人総支配人へ、学生たちはいったいどんな質問を投げかけるのかと、ハラハラさせられたものです。

これまでの学生生活では社会の先輩とのつながる経験、

ましては企業のトップとの関わりは皆無のはずです。

慣れないシチュエーションを前に、「私たちの言葉で質問ができるなら何を書こう」「この英文で通じる?」などと、友人同士でヒソヒソと話しながら考えを巡らす姿がそこにありました。

驚き、ワクワクそして緊張感が詰まった時間でした。

英語専攻科では、初めて学び、触れる専門知識を、慣れない英語を言語軸にして授業が進みますが、授業内では専門用語・表現の仕方・課題や試験など、英語の使用が多い一方で、

日常での使用頻度はアルバイトや実習で使用することに限定されるのが実情です。

そんな折に、もてなしや心構え、職業観とキャリア形成へ向けてのアドバイスを、具体的な経験から頂くことは、自身のやる気、安心感、新たなモチベーションとなったようです。

英語で学ぶことは決して容易ではありません。

時間コスト・理解深度という点で考えると、時には理不尽だ、不合理だと思うこともあるでしょう。

だからこそクラスメイトという存在は大きく、同志がいるからこそ続けられるのだと思います。

そして、同級生だけではなく、刺激・モチベーションとなる先輩たちとの繋がりも大切にして欲しいと思います。

コミュニケーションツール「English」を使う機会を個人的に増やすことで、

新しいことや想定していなかったことを知る喜び、得られる達成感・・・

出会う接点が広がった分に比例して将来の幅が広がっていきます。2年間を実り多く過ごすことができたその先を見据えることができれば、仕事選択も数倍になっていくことでしょう。

勿論、学校としても皆さんのやる気本気をより引き出せるように、全力でサポートしていきますよ！

2023年度 英語専攻科担任 井上浩